

所沢市立教育センター「所報」

# けやきだい

## 教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む

### 所沢市の教育の理念

みんなが持っている三つの“宝”を掘り起こして大きく育てます

心身のたくましさ

未来を拓く知恵

ふるさと所沢を愛する心

## 謹賀新年

### 新年の挨拶

所沢市教育委員会 教育長 大岩幹夫



### 創造とチャレンジ



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、行動が制限される年でした。4月からの授業は通常通りに開始されず、また、楽しみにしていた「東京オリンピック・パラリンピック2020」も延期になった年でもありました。暗いニュースが続く中でも、水泳の池江璃花子選手が白血病を克服し、現役復帰をしました。マラソンの大迫傑選手が日本新記録を樹立した年でもありました。どんな苦しい時でも、**チャレンジ**する精神を忘れず、継続することが大切ということが伝わってきました。

学校教育におきましては、令和3年度から中学校においても「新しい学習指導要領」が全面実施され、生徒の「学び」が変わります。新型コロナウイルス感染症対策を経験する中で、「変える」ことについて学んだことがたくさんあります。まさに、新たなことに**チャレンジ**するチャンスではないでしょうか。

令和3年度は、「GIGA スクール構想@TOKOROZAWA」が本格的に始動します。かつてガリ版で印刷していた時代の先輩たちの誰が、子どもたちが一人一台の端末を持って学習に臨む姿を想像できたでしょうか。その後、ワープロから、デスクトップパソコン、ノートパソコンが主流となり、仕事が格段に速くなっていき、今や子どもたち一人一人に Chromebook が渡されることとなります。先生方は、どのような授業を**創造**していきますか。ICTを活用して行う授業や子どもたちの表情などを想像して、新たなことに**チャレンジ**してください。

小学校も中学校も新しい学習指導要領が全面実施となりますが、改めて基礎・基本の大切さを考えてください。学習の基礎・基本となるものが、「読み・書き・計算」と言われています。基礎とは、もとは建築用語です。建物を建てる際、基礎がしっかりしていないと、建物を支えることができません。授業においても同じです。基礎・基本をしっかり身に付けさせた上で、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続ける児童・生徒を育成してください。

最後に、心を大切に教育の充実を図ってください。令和2年は、新型コロナウイルス感染症により、大人も子どもも、人とのつながりの大切さを改めて実感したことと思います。コロナウイルス感染症の拡大により、学校が長期にわたり、休業になることを、誰が想像できたでしょうか。子どもも教職員も、学校再開を待ち遠しく感じたのではないのでしょうか。6月より学校再開となりましたが、新型コロナウイルス感染症と隣合わせの生活に、心（気持ち）が折れそうになったことはないのでしょうか。大人も子どもも苦しい時ですが、人と人とのつながりを**創造**できる環境づくりを心がけてください。

「最高の教師は、子どもの心に火をつける」と言われています。教育センターは、教員の研修を行い、「最高の教師」になれるよう、力を尽くしていきます。それらは、全て所沢市内の子どもたちの健全な育成につながるととらえています。令和3年も所沢市の子ども達の笑顔があふれ、楽しい学校生活が送れるよう、教育センターは学校を支援してまいります。



# 1～2月研修会のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大のため、形式を変えて実施するもの、中止となる研修会

日時	研修会名	変更内容
1月20日(水)	I C T活用研修会②	中止
1月27日(水)	小学校理科授業力向上研修会	中止
1月28日(木)	特別活動授業づくり研修会	校内研修とする(資料配布)
1月29日(金)	校務支援システム活用研修会③④	中止
2月4日(木)	情報モラル研修会	中止
2月9日(火)	教授と活動のバランスに配慮した授業づくり研修会	校内研修とする(オンライン開催)
2月中旬	研究発表会(教育講演会)	動画配信
2月17日(水)	I C T活用研修会③	中止
未定	学級活動授業研修会	中止

## T G S 構想関係の研修会

日時	研修会名	対象者	会場
1月19日(火) 14:00	Chromebook 管理者研修①	管理職を含み2名まで	教育センター
1月22日(金) 14:00	Chromebook 管理者研修②		
1月26日(火) 14:30	Chromebook 利用者研修①	各校2名まで	清進小学校 体育館
1月27日(水) 14:30	Chromebook 利用者研修②		
2月2日(火) 15:30	ドリル教材研修(小学校)	各校2名まで	教育センター
2月3日(水) 15:30	ドリル教材研修(中学校)	各校2名まで	教育センター
2月19日(金) 15:00	授業支援ソフト研修(小学校)	各校2名まで	教育センター
2月25日(木) 15:00	授業支援ソフト研修(中学校)	各校2名まで	教育センター

※詳しくは、「Chromebook 活用研修会について」令和2年12月25日付所教セ第568号を御覧ください。

## 研修報告

### 指導に生かす評価を充実させるには

1月10日、教育センターにて、  
教務主任研修会を行いました。

学校教育課の刈谷指導主事から

「C4thを活用した指導要録等の作成

及び保存に係る研修」と教育センターの高島指導主事から

「指導と評価の一体化」について講義をしました。

#### 教務主任研修会

《感想より》

- ・「指導と評価の一体化」という事で講義をいただき、参考になりました。特に評価について近隣校と情報交換ができ、より深まりました。
- ・情報交換の時間は少し短かったですが、他校での評価・指導の取り組みの現状をうかがうことができ、大変参考になりました。

### 持続可能な社会に向けて

12月1日、教育センターにて、  
横浜市立日枝小学校

校長 住田昌治先生より

「ESDの15年を超えて」という  
テーマで御講演いただきました。

それぞれが自分らしさを出せるよう、ブラックではなく、カラフルな学校づくりについて御指導いただきました。

#### カラフルな学校づくり研修会

《感想より》

- ・ESDやSDGsの理念、学校経営を進めていく上での理念についてお話を伺ったのが有難かった。とかく方法論を求めがちですが、根本の話が大切だと思いました。
- ・唯一の正解を求めようとする学校現場においても同様で、ESDを学校現場で広げていくために自分自身から姿勢を変えていかなければならないと感じました。

## 指導と評価の一体化②

観点別学習状況の評価については、学習指導要領の改訂の主旨を踏まえ4観点(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解)から3観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に整理されました。(右図参照)

学習評価の改善の基本的な方向性として、

- ①児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ②教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくことという3つの方向性が示されました。

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものです。「児童生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、学習評価は大事なものとなっています。

